

『高等学校現代文B』（現B303）についてのシラバス案

科目	現代文B	単位数	4単位
		学科・学年・学級	

1 学習の到達目標など

学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材など	『高等学校現代文B』（三省堂）（第2学年では第1部を扱います）

2 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

3 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

第 1 学 期										
月	教材	配当時間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查範囲		
4	赤坂憲雄 「木を伐る人／植える人」	3	「木を伐る人」が同時に「木を植える人」でもあるという観点を踏まえ、人間と自然とのあり方について考える。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	読むことを通して、筆者の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	読むことを通して、筆者の論理の展開の仕方を把握しようとしている。	行動の観察	第1学期中間考查	
					読む能力	論理の展開と筆者の意見を筋道立てて把握する。	文章の内容から、筆者の考えを理解している。	記述の分析		
					知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検		
5	日野啓三 「『市民』のイメージ」	3	筆者の考える「市民社会」のあり方を理解した上で、その現代的な意味について考える。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	文章を読んで「市民社会」のあり方について考える態度を身につける。	文章を読んで「市民社会」のあり方について考えようとしている。	行動の観察	第1学期期末考查	
					読む能力	文章の内容に着目し、筆者の主張を読み取る。	文章の内容から、筆者の考えを理解している。	記述の分析		
					知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検		
6	中島敦 「山月記」	7	「李徴」及び「袁俊」の視点に沿いつつ、「語り手」が構成する場面の意味を考える。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	表現上の特色に注意しながら文章を読もうとする態度を身につける。	文章の特色に注目することで内容の深い理解を目指すようとしている。	行動の観察	第1学期期末考查	
					読む能力	人物の心情を理解しながら文章を読む。	人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。	記述の分析		
					知識・理解	語句の意味や用法を的確に理解する。	漢語的な表現や語句の意味についての理解を深めている。	記述の分析		
7	河野多恵子 「少女」	3	小説世界を味わいながら、「少女」の心情変化について読み取る。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように描いているのかに気づこうとしている。	行動の観察	第1学期期末考查	
					読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように描いているのかに気づいている。	記述の確認		
					知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察		
8	清岡卓行 「ミロのヴィーナス」	3	「ミロのヴィーナス」に対する筆者の想いを読み取る。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	読むことを通して語彙を豊かにしようとする態度を身につける。	言葉による認識の可能性を広げながら読もうとしている。	行動の観察	第1学期期末考查	
					読む能力	修辞の特色を吟味しながら文章を読む。	筆者の考えを把握しながら文章を読み取っている。	記述の確認		
					知識・理解	文章の特色を理解する。	文の照応関係や文章構成についてなどの理解を深めている。	記述の分析		
9	岩井克人 「ホンモノのおカネの作り方」	3	「おカネ」が「おカネ」であることの本質を理解し、身近な世界のあり方を捉え直す。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	読むことを通して、主体的に考えようとする態度を身につける。	論点を整理しながら、自分の考えを表現しようとしている。	行動の観察	第1学期期末考查	
					読む能力	論理の展開に注意して、文章を読む。	題材や材料、文の組立てに注意しながら、読み取っている。	記述の確認		
					知識・理解	語句の意味や用法を的確に理解する。	語句の意味や用法の微妙な違いについて、理解を深めている。	記述の分析		
10	鷲谷いづみ 「人類が営んできた環境への働きかけの経緯を踏まえ、生態系への関わり方について考える」	3	人類が営んできた環境への働きかけの経緯を踏まえ、生態系への関わり方について考える。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察	第1学期期末考查	
					読む能力	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析		
					知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検		
11	情報の読み方・扱い方	3	統計資料の読み方を学び、それを踏まえた自分の考えをわかりやすく整理する。 学習指導要領の指導事項 エ	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。	関心・意欲・態度	さまざまなメディアを利用して必要な情報を収集し、その情報を活用して自分の考えを積極的に述べようとする態度を身につける。	図書館やインターネットを利用した情報の収集ができ、その情報が伝えようとする内容を理解しようとしている。	行動の観察	第1学期期末考查	
					読む能力	統計資料に示されたグラフや表から得られた情報に基づいて、自分の考えをまとめることができる。	グラフや表から読み取った内容を踏まえ、自分の考えを述べている。	記述の分析		
					知識・理解	統計資料の読み方や分析の方法を理解する。	グラフや表から特徴的な傾向をつかむことができる。	記述の確認		
12	報道の文章	3	報道の文章における構成について理解し、それに基づいて自らの手で報告内容を編集することができる。 学習指導要領の指導事項 エ	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。	関心・意欲・態度	報道の文章の意図と特徴を理解しようとする態度を身につける。	報道の文章の意図と特徴を理解している。	行動や発言の分析	第1学期期末考查	
					読む能力	報道の意図や表現の仕方について理解し、それを自分の編集作業に活用する。	報道の意図や表現の仕方について理解し、それを自分の編集作業に活用している。	記述の分析		
					知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	情報の形態による特色について理解している。	記述の確認		

【課題・提出物など】

- ① 授業で使ったプリントやワークシート
- ② 授業で作った資料や制作物など
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 2 学 期

月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查 範囲
9	吉原幸子 「パンの話」 田村隆一 「帰途」 宮沢賢治 「永訣の朝」	3	繰り返し音読することにより、それぞれの作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。 学習指導要領の指導事項 イ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	詩のもつ独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。	繰り返し音読することで詩の韻律に慣れようとしている。	第2学期 中間 考査
					読む能力	描かれている情景を把握し、作者の思いを読み取る。	一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしている。	
					知識・理解	詩の表現形式や修辞を理解する。	詩の表現形式や修辞について、理解している。	
10	「大きな一 一短歌十六首」	2	近代から現代の代表的作者の手になる十六首の歌を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。 学習指導要領の指導事項 イ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	短歌を読み味わう態度を身につける。	理解したそれぞれの短歌の内容を、朗読や鑑賞文に生かそうとしている。	第2学期 中間 考査
					読む能力	それぞれの短歌について、表現されている情景や感動の中心を読み取る。	それぞれの短歌について、その情景や短歌の中心を整理し、説明することができる。	
					知識・理解	短歌についての基礎的な知識を身につける。	韻律や区切れなど、短歌の基礎的な構造を理解している。	
11	港千尋 「擬似群衆の時代」	3	筆者の論理展開を踏まえ、「擬似的な群衆」の出現が意味するところを考える。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	読むことを通して、思考力を伸長しようとする態度を身につける。	評論を読むことで、視野の拡充を図ろうとしている。	第2学期 中間 考査
					読む能力	構成を確かめながら、筆者の主張を読み取る。	筆者の考えの展開に注意しながら、文章の内容を読み取っている。	
					知識・理解	段落相互の関係を理解する。	文章の組立てについて理解を深めている。	
12	柳澤桂子 「病と科学」	3	人間が「科学」とどのように向き合うべきかについての理解を深め、自分の考えを整理する。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	読むことを通して、題材やテーマについて考察しようとする態度を身につける。	評論を読むことで、ものの見方や考え方を広げようとしている。	第2学期 中間 考査
					読む能力	論理の展開をたどりながら文章を読む。	文章の組み立てに注意しながら筆者の思考の筋道を読み取っている。	
					知識・理解	段落構成の関係を理解する。	段落相互の働きについて理解を深めている。	
10	丸山圭三郎 「ロゴスと言葉」	3	「ロゴスとしての言葉」が、二次的機能（ラベルの貼付）だけでなく、一次的機能（世界の分節）を持つという筆者の観点を踏まえ、言葉の持つ「根源的な存在喚起力」について考える。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	第2学期 中間 考査
					読む能力	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	
					知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	
11	原民喜 「夏の花」	4	「私」の〈手記〉という表現形式を踏まえ、「私」の体験した世界を想像力豊かに読む。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように描いているのかに気づこうとしている。	第2学期 中間 考査
					読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どうして筆者がこのように描いているのかに気づいている。	
					知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	
12	山田詠美 「ひよこの眼」	4	内容を踏まえて、「ひよこの眼」という題名に込められた意味について考える。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	表現上の特色に注意しながら文章を読もうとする態度を身につける。	文章の特色に注目することで内容の深い理解を目指そうとしている。	第2学期 中間 考査
					読む能力	人物の心情を理解しながら文章を読む。	人物の心情の推移を把握しながら文章を読み取っている。	
					知識・理解	語句の意味や用法を的確に理解する。	表現や語句の意味についての理解を深めている。	
12	調査から発表へ	3	調査の仕方とそれを整理・分析する方法を学ぶ。 学習指導要領の指導事項 エ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	関心のある事柄についての的確な調査方法を選択しようとする態度を身につける。	関心ある事柄についての的確な調査方法を選択している。	第2学期 中間 考査
					読む能力	調べた結果をわかりやすくまとめ、伝えることができる。	調べた結果をわかりやすくまとめ、伝えることができる。	
					知識・理解	アンケート調査の方法や分析の仕方を理解する。	アンケート調査の方法や分析の仕方を理解している。	
12	脚本の世界—創作	3	脚本や戯曲の形式について理解を深め、実際に書いてみる。 学習指導要領の指導事項 エ	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。	関心・意欲・態度	脚本の世界が持つ特徴について理解しようとする態度を身につける。	脚本の世界が持つ特徴について理解しようとしている。	第2学期 中間 考査
					読む能力	学んだ事柄を活かして、実際に脚本を書く。	学んだ事柄を活かして、整った脚本を書くことができる。	
					知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文章の組み立てについて理解している。	

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 3 学 期

月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查 範囲
1	見田宗介 「南の貧困／北の貧困」	3	筆者の論理展開を踏まえ、「豊かさ」について考察し、自分の考えを整理する。	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	筆者のものの見方や考え方に触れようとする態度を身につける。	視野を広げ思考を進めながら文章を読もうとしている。	行動の観察
					読む能力	表現上の特色に注意しながら文章を読む。	用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。	記述の分析
2	西谷修 「戦争の〈可能性〉」	3	核兵器によって、不可能な戦争の中に「宙吊り」になっている現代世界のありようについて読み取る。	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
					読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析
					知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検
3	丸山真男 「「である」ことと「する」こと」	4	「である」論理・「する」論理という筆者の問題意識を踏まえ、社会現象を捉え直す観点を手に入れる。	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	問題点を確認しながら文章を読もうとする態度を身につける。	筆者の問題意識を把握しながら文章を読もうとしている。	行動の観察
					読む能力	筆者の考えを過不足なく捉えている。	文脈を考え、語句や表現に注意しながら文章を読んでいる。	記述の分析
					知識・理解	文章の内容を要約する方法を理解する。	文章の要点を押さえながら短くまとめる方法を身につけている。	記述の分析
3	夏目漱石 「こころ」	7	叙述に即して人物の心情を読み取り、近代の小説世界を想像力豊かに読み味わう。	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	小説の世界を、想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。	表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。	行動の観察
					書く能力	叙述に即して人物の心情を読み取る。	情景や会話の描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。	発言や記述の分析
					知識・理解	近代の文章や文学の変遷を理解する。	作者の思想や作品について、理解を深めている。	発言や記述の分析
3	内田樹 「ネット上の発言の劣化について」	1	筆者が指摘する「情報の階層化」という事態を踏まえ、自分の考えを整理する。	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き出し方に注意しながら、評論を読もうとしている。	発言や行動の分析
					書く能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、自分の考えを筋道立てて整理する。	個々の段落の働きと展開を意識しながら、文章を書いている。	記述の分析
					知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や行動の分析
3	原研哉 「空白の意味」	1	芸術空間における空白は「不在」ではなく、その向こうに奥行きを意識させるための装置であることを理解し、それに対する自分の考えを文章化する。	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き出し方に注意しながら、評論を読もうとしている。	発言や行動の分析
					書く能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、自分の考えを筋道立てて整理する。	個々の段落の働きと展開を意識しながら、文章を書いている。	記述の分析
					知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や行動の分析
3	村上陽一郎 「科学の現在を問う」	1	「脳死―臓器移植」についての筆者の見解を踏まえ、自分の考えを整理する。	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き出し方に注意しながら、評論を読もうとしている。	発言や行動の分析
					書く能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、自分の考えを筋道立てて整理する。	個々の段落の働きと展開を意識しながら、文章を書いている。	記述の分析
					知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や行動の分析

【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第3学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代文B」は、国語総合の授業で学んできたことを受け継ぎ、その内容を発展させた総合的な科目です。国語の表現力、理解力を身につける努力に加え、それらの能力を基盤として、人と人の関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、伝え合う力を高めることをこころがけてください。また、近代文学をはじめとするさまざまな言語文化に目を向け、それらを享受して、国語を愛し育てる態度を培ってください。 ・目的や課題に応じて、さまざまな情報を収集し活用して、進んで表現するよう努めてください。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理しましょう。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。

(2) 担当者からのメッセージ

「現代文B」では、言葉をとらえて現実をみつめ、主体的に生き、伝え合う力を高めて、二十一世紀における新たな日本を切り開くことができる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的に言葉にかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。

『高等学校現代文B』（現B303）についてのシラバス案

科目 現代文B	単位数	4単位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標など

学習の到達目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材など	『高等学校現代文B』（三省堂）（第3学年では第2部を扱います）

2 評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

3 学習計画及び評価方法など

(1) 学習計画など

第 1 学 期										
月	教材	配当時間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標			具体的な評価基準	評価方法	考查範囲
4	鷲田清一 「ぬくみ」	3	論旨を正確に追いつきながら、筆者の言う「相互性」が持つ意味について読み取る。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	「自由」な社会における「つながり」の必要性について、引用事例を通じて考えようとする態度を身につける。	「自由」な社会における「つながり」の必要性について、引用事例を通じて考えようとしている。	行動の観察	第1学期中間考査	
					読む能力	引用事例に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。	引用事例に注目し、筆者の考えを理解している。	記述の分析		
					知識・理解	主な常用漢字について使い方を理解する。	主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	記述の点検		
5	野村雅一 「身体像の近代化」	3	近代が生み出した「身体像」の変遷について把握した上で、現代の「身体像」との関わりについて考える。 学習指導要領の指導事項 イ	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察		
					読む能力	文章の構成や展開を確かめ、筆者の意図を捉えている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析		
					知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検		
6	黒崎政男 「身体（の）疎外」	3	テクノロジーの発達によって、身体が私たちの心や意識を支配しかつ疎外しているという論理を読み取る。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察		
					読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析		
					知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の点検		
7	森鷗外 「舞姫」	7	描かれた時代背景と〈手記〉という形式に留意しながら、出来事の変遷と登場人物の心情の変化を読み取る。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	小説の世界を、想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。	表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。	行動の観察	第1学期期末考査	
					読む能力	叙述に即して人物の心情を読み取る。	情景や描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。	発言や記述の分析		
					知識・理解	近代の文章や文学の変遷を理解する。	作者の思想や作品について、理解を深めている。	発言や記述の分析		
7	西脇順三郎 「ギリシア的抒情詩」 金子光晴 「潮水」 萩原朔太郎 「時計」	3	繰り返し音読することにより、それぞれの作品世界の理解を深め、詩人たちの個性に触れる。 学習指導要領の指導事項 イ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	詩のもつ独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。	繰り返し音読することで詩の韻律に慣れようとしている。	行動の観察		
					読む能力	描かれている情景を把握し、作者の思いを読み取る。	一つ一つの表現に即して、その意味を明らかにしている。	記述の確認		
					知識・理解	詩の表現形式や修辞を理解する。	詩の表現形式や修辞について、理解している。	記述の確認		
7	「鞆は——俳句十六句」	2	近代から現代の代表的作者の手になる十六句を読み味わい、そこに描かれている情景や作者の心理を読み取る力を養う。 学習指導要領の指導事項 イ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	俳句独特の韻律に気づこうとする態度を身につける。	繰り返し音読することで俳句の韻律に慣れようとしている。	行動の観察		
					読む能力	情景や感動の中心を考察しながら俳句を読む。	思想や感情に注意しながらそれぞれの句を読んでいる。	朗読の分析		
					知識・理解	俳句の表現形式を理解する。	俳句の形式や修辞などについての理解を深めている。	記述の確認		
7	C・レヴィ＝ストロース／川田順造・渡辺公三 「累積的社会・停滞的社会」	2	近代社会を生み出した西欧社会の価値観も相対的なものであるという筆者の論点を理解し、その内容を過不足なく説明する。 学習指導要領の指導事項 ア/ウ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方把握しようとする態度を身につける。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察		
					読む能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、その内容を過不足なく筋道立てて整理する。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析		
					知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の分析		

【課題・提出物など】

- ① 授業で使用したプリントやワークシート
- ② 授業で作成した資料や制作物など
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 2 学 期

月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価標準	評価方法	考查 範囲		
9	今村仁司 「抗争する人間」	3	本文を踏まえ「他者」との関係性のあり方について考える。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察	第2学期 中間 考 査	
					読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。			記述の分析
					知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。			記述の点検
	岡真理 「虚ろなまなざし」	3	1枚の写真とそれを巡る出来事に対する筆者の問題意識を読み取る。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	筆者の問題意識を把握しながら文章を読むとする態度を身につける。	筆者の問題意識を把握しながら文章を読むとしている。	行動の観察		
					読む能力	文章を読むことを通して、視野の拡大と思考の深化を目指す。	筆者の考えをもとに自分の考えを深め、発展させようとしている。	記述の分析		
					知識・理解	正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やす。	複合語や連語などについての理解を深めている。	記述の分析		
	石原吉郎 「ある（共生）の経験から」	3	文章の内容を踏まえ、他者と「共生」することの意味について考える。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	問題点を確認しながら文章を読むとする態度を身につける。	筆者の問題意識を把握しながら文章を読むとしている。	行動の観察		
					読む能力	筆者の考えを過不足なく捉えている。	文脈を考え、語句や表現に注意しながら文章を読んでいる。	記述の分析		
					知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察		
	10	梶井基次郎 「檸檬」	4	《回想》という形式を踏まえ、「私」の思いの変化を読み味わう。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。		行動の観察
						読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。		記述の確認
						知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。		行動の観察
三島由紀夫 「美神」	3	R博士の臨終を通じて描かれようとした世界について読み味わう。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	行動の観察			
				読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	記述の確認			
				知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察			
11	谷崎潤一郎 「陰翳礼讃」	3	現代の私たちの生活が、本文に述べられている日本の美とどのような関わりにあるのかを考える。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	イ 論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。	関心・意欲・態度	筆者のものの見方や考え方に触れようとする態度を身につける。	視野を広げ思考を進めながら文章を読むとしている。	行動の観察		
					読む能力	表現上の特色に注意しながら文章を読む。	用語や文体や修辞などに注目しながら文章を読んでいる。	記述の分析		
					知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察		
加藤周一 「日本文化の雑種性」	3	筆者の考える「日本文化の雑種性」について理解を深める。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	読むことを通して、筆者の論理展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	結論の導き方に注意しながら文章を読むとしている。	発言や行動の観察			
				読む能力	論理展開を捉えるための文章構成について理解する。	個々の段落の働きを確かめながら文章を読んでいる。	発言や記述の分析			
				知識・理解	文章の構成の仕方を理解する。	具体例・説明・補足・反証などの文章構成について理解を深めている。	発言や記述の分析			
12	多木浩二 「写真に何が可能か」	2	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察			
				読む能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、その内容を過不足なく筋道立てて整理する。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析			
				知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の分析			

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 3 学 期

月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查 範囲	
1	小林秀雄 「無常というこ と」	3	筆者が述べる「歴史」と「思い出 す」こととの関係について読み取る。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもつた事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	筆者の論理展開を把握しようとする態度を身につける。	題材や組み立てなどを読み取ろうとしている。	行動の観察	第3学期 期末 考查
					読む能力	筆者の意図や主張を把握しながら文章を読む。	個々の段落の働きや段落相互の関係を読み取っている。	記述の分析	
					知識・理解	語句や語彙の構造的な仕組みを理解する。	熟語の修飾や被修飾の関係などについて理解を深めている。	記述の分析	
					関心・意欲・態度	読むことを通して、筆者の論理展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	筆者の論点に注意しながら文章を読もうとしている。	発言や行動の観察	
2	夏目漱石 「現代日本の開 化」	3	執筆（講演）当時に筆者が抱いていた問題意識を把握し、現代へとつながる問題として捉える。 学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 文章を読んで関心をもつた事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	読む能力	筆者の意図や主張を把握しながら文章を読む。	筆者の意図や主張を把握しながら文章を読んでいる。	行動の分析	
					知識・理解	近代の文章や文学の変遷を理解する。	近代の文章史や文学史などについて理解を深めている。	行動の分析	
3	安部公房 「鮑」	3	「鮑」に対する「私」の考え方の変化を読み味わう。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	行動の観察	
					読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	記述の確認	
					知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	言語が文化の享受や発展にどのように関わっているのかについて理解している。	行動の観察	
3	レベッカ・ブラウ ン／柴田元幸 訳 「涙の贈り物」	3	描かれた世界を読み味わうことを通じて、「涙の贈り物」という表題の意味について考える。 学習指導要領の指導事項 イ/オ	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。	関心・意欲・態度	小説の世界を、想像力豊かに読み味わおうとする態度を身につける。	表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。	行動の観察	
					書く能力	叙述に即して人物の心情を読み取る。	情景や描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。	発言や記述の分析	
					知識・理解	表現上の効果を理解する。	語句に関して、文脈上の意味への理解を深めている。	記述の分析	
2	大澤真幸 「コミュニケー ションに未来は あるか」	2	メディアを、言語・社会・権力などにわたる現代社会の根幹的なテーマであることを理解し、文章の内容を過不足なく説明する。 学習指導要領の指導事項 ア/ウ	エ 文章を読んで関心をもつた事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。	関心・意欲・態度	読むことを通して、書き手の論理の展開の仕方を把握しようとする態度を身につける。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察	
					書く能力	論理の展開と筆者の意見を理解した上で、その内容を過不足なく筋道立てて整理する。	語句や表現に注意して文脈を捉え、筆者の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の分析	
					知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	記述の分析	

【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第3学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代文B」は、国語総合の授業で学んできたことを受け継ぎ、その内容を発展させた総合的な科目です。国語の表現力、理解力を身につける努力に加え、それらの能力を基盤として、人と人との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、伝え合う力を高めることをこころがけてください。また、近代文学をはじめとするさまざまな言語文化に目を向け、それらを享受して、国語を愛し育てる態度を培ってください。 ・目的や課題に応じて、さまざまな情報を収集し活用して、進んで表現するよう努めてください。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理しましょう。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。

(2) 担当者からのメッセージ

「現代文B」では、言葉をとらえて現実をみつめ、主体的に生き、伝え合う力を高めて、二十一世紀における新たな日本を切り開くことができる国語の力を育成することを第一のねらいとしています。受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。また、授業のみならず、日常生活の中でも積極的に言葉にかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けてください。